



三木高大 自治会新聞

平成 28 年 1 月号 (No. 118)

発行 三木市高齢者大学学生自治会
発行責任者 自治会会長 立石 勲
編集者 自治会新聞編集委員会
発行日 平成 28 年 1 月 12 日

<http://koureisuyadaigaku.cccp.jp>



明けましておめでとうございます



学生の皆様には、新しい年、平成 28 年をいかがお迎えになったでしょうか？

世間では、テロの脅威、消費税率のアップ、TPPの問題等の様々な課題が山積みですが、我々が直接関わる事ができないので、尊い一票で選んだ議員の方々にお任せするとして、直接関わる事ができる学生自治会の現状をお知らせしたいと思います。

一番の問題点は、入学時に抱いていた自分の趣味の増加、交友関係の拡大、生きがいの発見などの様々な希望が達成できずに、とにかく自治会活動の推進ばかりに時間を費やしている現状ではないでしょうか。

これらの事を一気に、全て解決するのは難しいため自治会としては、5大行事の見直し（時期・回数・実行委員会の在り方など）・自治会新聞のHPからの閲覧・新入生募集時の在校生からの応援（友人・知人等に募集要項を配付して勧誘）の3点を改善の手段として取り組んでいきたいと思います。学生の皆様にはご協力をお願い致します。

本年も、皆様が楽しく充実した学園生活を送れる様に努力致しますので、昨年にも増してのご支援とご協力をお願い致します。



自治会会長 立石 勲

大学運営委員会の報告

平成 28 年度の大学運営について、昨年 12 月 16 日に運営委員会を開催、次のことを審議、決定していただいた。

【平成 28 年度の講座】教養講座 20 回、専門課程 5 学科（各 16 回の講座）

【新入生の募集】定員 75 名、受付期間 1 月 19 日から 2 月 26 日

【東・北播磨学ぶ高齢者のつどい】来年度は、三木市が開催当番

10 月 14 日に市文化会館小ホールで大会を開催。

作品展は 10 月 12 日に作品搬入、審査、13 日と 14 日が一般公開。

◇委員の主な意見・回答 「新入生募集の入学要件が影響して平成 27 年度の入学者が少なかったのでは」との意見に対し、市は「入学要件の変更は平成 26 年度からなので、あと 1 年現行のままでいきたい。また入学者数を増やすため、ポスターやチラシを作り市立公民館の高齢者教室での呼びかけや、各自治会への回覧依頼等、啓発活動に力を入れる」と回答。大学自治会から「学生が 1 人 2 枚ずつ入学案内を持って友人、知人に PR 活動を行い協力する」などの意見があった。

大学運営委員会は、教育長・社会福祉協議会・老人クラブ連合会・区長協議会連合会・小学校校長会・市民ふれあい部長などと、大学・大学院自治会会長ならびに学長や教務主任・庶務主任が学校の運営について審議するため、年度 3 回開催される。

教務主任 井上 達夫

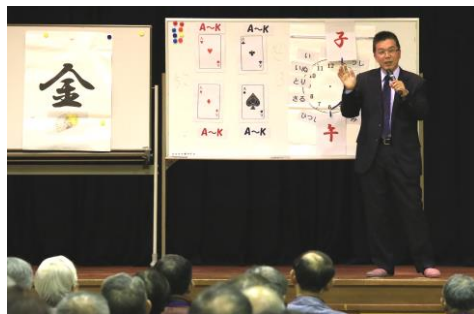
教養講座だより

税「KIN」のお話

講師：三木税務署長 中来田 眞泰 様

今月の講師は、税務署長とお聞きして「さぞかしお堅い話なのだろう」と思いきや、豊富な知識と経験を織り交ぜた興味深いお話が次々と繰り出され、知らぬ間に引き込まれていた。

「KIN」は、税金の「金」のみならず、勤務の「勤」、禁止の「禁」を表している、「KIN」の3部構成で講義が進められた。



第1章 「税金」には、国税、地方税、関税等があり、国税には、法人税、所得税、相続税他 21 税がある。税務署は国税を扱う地方行政機関である。

第2章 「勤」は、税務調査の経験から、性善説と性悪説に基づく失敗談を話されたが、大変な業務であると認識するとともに、失敗から学ぶことの大切さを痛感した。

第3章 「禁」は、職員の不祥事を禁止（防止）するという意味から、「衣」を付けて「襟」とし、襟を正して職務に精励し、国民の信頼を得なければならないと熱弁された。

三木税務署では、事務集中化試行のため「内部処理部門」を加古川へ移管し、6名が異動 18名体制となった。職員の減少で確定申告時には、昨年以上の混雑が予想されることを危惧されて、協力依頼があった。電子申告や郵送で提出することで、「時間の無駄を省き、税務署にも協力していただくことが出来る」と、双方の利点を強調された。私も従来は税務署に申告書を持参していたが、今回からポスト投函して一件落着とする。

博学のあるお話しで、脳が和らぎ充実感を覚えた講座であった。

2年3班 戸田 實

専門講座だより（古典学科）

「日もいとながきにつれづれなれば、夕暮れのいたう霞たるにまぎれて、かの小柴垣のもとに立ち出でたまふ」
[現代語訳] 日もたいそう長く手持ち無沙汰なので、(光の君は)夕暮れでたいへん霞がかっているのに紛れて、あの小柴垣のところにお出かけになります。

「源氏物語」の『若紫』の巻きの一節です。

今年から黒田先生が原文を読み上げられて、講義の始まりです。現代文でしか読んだことがないので、新鮮でワクワクした気分です。

前年度は、阪本先生が歴史研究家の観点から時代背景を語られました。



黒田先生から聞く源氏物語は、源氏の生い立ちと環境、そこから生まれる思考や、登場する女性達の心情を、ユーモアと暖かみのある口調で解説されます。身につまされる事が多く、気が付けば、聞き入っています。

校外研修では石山寺を訪問して、4分の1の大きさで精巧な作りの『女三宮の持仏開眼供養』の場面の展示等を見学、物語の雰囲気を楽しんだ後、涉成園の散策をしました。

3年5班 松浦 賀代子

ク ラ ブ 紹 介

水墨画クラブ

現在クラブ員数はOBを含め33名が活動している。

教室は基礎コースと応用コースの2つに分け、講師2人の指導を受けている。基礎コース、応用コース共に講師が出題された画題により練習を重ね、1～2か月で作品を完成させる。

新画題に入る際、講師に絵の心、運筆の方法などの指導を受ける。その後、描いて添削を受け、描いては添削を受け、自画鑑賞会を繰り返しながら、作品を完成させる学習方法を取っている。

年間活動として、クラブ主催の展示会（緑が丘公民館・みっきいホール・大学祭等）や、画題を求めて写生会を実施している。また、毎年開催される「東・北播磨学び高齢者のつどい」に出展し、これまでに2名が金賞を受賞するなど優秀な部員を輩出している。

昨年12月に、学内のロビーにおいて「創部10周年記念展示会」を開催し、講師並びに創部以来在籍した部員の作品約30点を展示した。展示作品について、学生の皆さんの投票により、金賞は吉田陽一（OB）、銀賞は奥山勝美（OB）、銅賞は前田邦男（4年3班）に決定した。投票していただいた方の中から、抽選により13名に粗品をお渡しした。皆様のご協力有難う御座いました。



水墨画クラブ部長 3年1班 藤枝 修

茶道クラブ

茶道クラブは現在、OBを含めて部員22名で活動しております。

講師に石井宗貴先生をお迎えし、お点前を通して私たちに優しく、時には厳しい茶道の心得を、わかりやすく教えて頂いております。

一服のお茶を立てる時、雑念を忘れ静寂の中に身を置くという、貴重な体験が出来、その中から心にゆとりを持ち有意義な日々を送る事を学んでおります。

お稽古は、先輩方とも和気あいあいの中で行い、「一期一会」の心を大切に、四季折々のお茶会を共に楽しんでおります。

昨年10月には出石の宗鏡寺で座禅を体験し、11月には炉開きを、今年1月7日には初釜を行い、忘れられない思い出がいっぱい出来ました。



お稽古の様子

今は大学祭に向けて、部員一同頑張っております。どうぞ、皆様もお気軽に茶道クラブにお越しください。

部員一同お待ちいたしております。

稽古日：第1・3月曜日 9:00～15:00 三木市立中央公民館3階和室

第3 木曜日 9:00～15:00 まなびの郷みずほ第5研修室

茶道クラブ部長 3年5班 菅野 富美江

書道クラブ

書道クラブは、福永清治(雅号：美雪)先生の指導のもとOB8名、現役12名の計20名で、月2回活動しております。9時30分からの朝礼後、先生の指導によりストレッチ体操を約10分行い、書の歴史についての講義が約30分あります。



講義の後、自宅で書いてきた作品を、先生にお見せして朱墨で添削していただきます。教室では筆の運び方、筆先の使い方まで手を携えて優しくご指導されます。

作品は、夏には広島「ふれあい書道展」、秋には神戸の原田の森ギャラリーでの「シルバー書道展」に出展、2月には大学祭で展示のため、その都度、作成しています。

市役所のみっきいホール、緑が丘のさんさんギャラリー、道の駅「みき」でも、発表する機会を得て、書道の腕を磨いております。

皆さん、展示会に足を運んでいただき、我々の作品の感想をお聞かせください。益々創作意欲がわきますのでよろしくお願いいたします。

書道クラブ部長 3年5班 三宅 宏佳

大学祭のご案内

学生自治会の活動報告や各クラブの作品展示並びに演技を披露する「第24回大学祭」が2月20日と21日、まなびの郷みずほで開催されます。

大学祭は、1年間の活動成果を発表する場です。開催に向けて、今一度、展示作品の見直し、演技の仕上げに努めてください。

また、会場の設営から後片付けまで、全て学生の共同作業です。裏方に徹する方は、支援作業の中で力を発揮できますので、ご協力をお願いします。

行事の概要は次のとおりです。

日	時	内 容
2月20日(土)	09:00~12:00	会場設営等準備作業
	13:00~15:20	作品展(一般公開)
2月21日(日)	09:40~10:00	式典
	10:05~15:20	演技披露・作品展(一般公開)
2月22日(月)	09:00~11:50	後片付け

実行委員会では、今後も、より良い大学祭の開催に向けて努力します。

次号では、見学される方のために、演技プログラムの掲載等を予定しています。

大学祭実行委員長 3年4班 徳田 均

編集後記 新聞のタイトル(ヘッド)のデザインが変わりました。Win10へのバージョンアップで、「不具合なし?不具合だらけでどうしたらいいの?」と話題になるこの頃です。OSの変更により、今までのロゴ、字体(ワードアート)の使用が困難であると判断し、タイトルの変更を丁々発止議論しました。ホームページでの公開を念頭に、従来からカラーも意識しながら編集している私達の結論が、今月号のスタイルです。激しい議論の末、スッキリして、中の文字もドットの影響を受けなくなりました。皆さんのご感想は如何でしょうか。

この他、新聞の編集にあたって、会議場では喧々諤々、割れんばかりの意見が飛び交い、その熱意を伝えられないのが残念です。編集委員一同、これからもより良い紙面作りに奮闘します。